

大学機関における CARE の実践

～ 心理相談室主催 CARE 専門家向けワークショップ実施報告 ～

國吉 知子

(人間科学研究科教授)

2016年10月10日(月・祝) 13:30～17:30に【CARE (子どもと大人の絆を深めるプログラム) 専門家向けワークショップ】を本学にて開催しました。CARE (Child Adult Relationship Enhancement) とは、本学が西日本で初めて導入した『親子相互交流療法 (PCIT: Parent Child Interaction Therapy) の心理教育部分をベースに構造化された、子育て支援スキルを学ぶための心理教育プログラムです。2歳～児童期を中心に、思春期を含めた子どもの親および子どもと関わるすべての大人のための関係改善に有効なコミュニケーションスキルをコンパクトにまとめた内容となっています。CARE はこれまで関東を中心に展開してきました。関西では今後の発展が期待されるプログラムで、これまでから関西地域における CARE ワークショップの開催が求められてきていましたが実施機関は限られていました。そこで今回、“CARE-Japan が認定する” “専門家向け” のワークショップを、本学心理相談室地域実践部の新しい社会貢献のためのプログラムとして位置づけ、CARE シニアトレーナー資格を持つ國吉が開催致しました。

専門家向けワークショップは CARE-Japan の所定の研修を修了し認定されたシニアトレーナーしか開催できず、人数制限もある関係上、今回は8名を定員として募集しました。しかし関西でのワークショップは非常に希少であるせいか、8名の定員枠に何と21名もの応募者が殺到する盛況ぶりです。本当に「使える」子育て支援スキルへのニーズの高さが伺えました。厳正な抽選で選ばれた8名の参加者とオブザーバー受講生(すでに専門家向けワークショップを受講した後のフォロー研修希望者)9名、総勢17名の臨床心理士や看護師、福祉職の専門家の先生方が、中部、四国地区からも参加され、親役や子ども役のロールプレイを通して、熱心に CARE のスキルを学ばれました。質疑応答も非常

に専門的かつ積極的で、オブザーバーの先生方のアドバイスやサポートも的確になされ、大変充実した学びのひと時となりました。



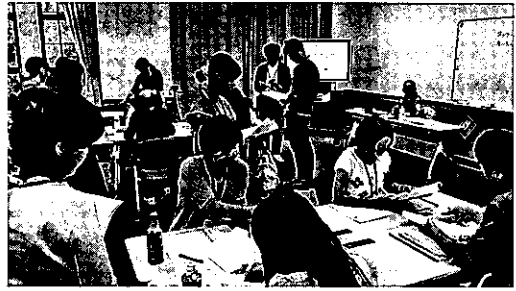
CARE 実習風景 1

実施後の「振り返りシート」(CARE-Japan)においても、参加者は全員経験豊富な援助専門職の方々でしたが、80%もの肯定的評価をいただくことができました。さらに、8名全員が「CARE は子ども/ティーンエイジャーとの接し方に影響を与えそうですか?」の問いに「はい」と回答し、「現場で CARE プログラムを実践してみたい」と答えておられました。ご参考までに、以下に参加者の感想(自由記述)を記します。

「ほめてもらうこと、認めてもらうこと、のび遊ぶこと、こんなにこち良いんだなと思いました。3K、3P、ぜひ実践しようと思います。」(20代・子育て相談担当)「3Pを現場内で推奨したい。(中略)いつもこの姿勢を続けていくのは難しいと思うが、時間・場を決めてその積み重ねで効果が期待できると思う。神戸での開催を知り、タイムリーに参加させていただくことができてラッキーでした。ロールプレイなどが盛り込まれているので、あつという間でした。ありがとうございます。」(40代・心理

職)「対応の仕方が明確に整理されているので、余裕をもって関われると思います。研修ではロールプレイなどを交えて非常に勉強になった。実際の事例を紹介していただければ、より具体的なイメージが得られ、学びにつながったと思う。」(20代・心理士)「子どもが大事にしてもらえている、受け止めてもらえているとラポールを作るのに役に立つと思えました。ロールプレイで実践、また観察者をする事で少しずつ身についていくと思えました。」(30代・臨床心理士)「今後に生かせそう。もう少し学びを深めたいと感じています。自分のあり方をふりかえるところも考えていきたいです。」(60代・臨床心理士)「来所されるケースとの面接で利用できる部分が多いと感じた。講義部分とロールプレイの部分がバランスよく配置されていて、とてもわかりやすかったです。スタッフさんの気配りもととてもよかったです。」(40代・心理判定員)「特にネグレクトや虐待を受けた思春期の子どもたちとの関わりは難しいと思う日々です。とても参考になりました。これからの仕事、また里親研修でも取り入れて行きたいと思えます。もちろん親としても、子どもとの関わりを見直す機会を頂きました。ありがとうございます。」(50代・看護師、里親)「自然体でわざとらしくなく誉められたら、思春期の反抗的な子どもを(言うことを)聞かすのに有効。具体的事例がイメージしやすい、非常にわかりやすく時間があつという間にたちました。」(50代・療育保育士)

これらの感想からもわかるように、CAREはロールプレイなど具体的な実践がふんだんに取り入れられています。大人役だけでなく、子ども役を行うことで子どもの気持ちや視点を再確認できる構造になっているのです。スキルも体系的に整理されているので、学べばすぐに現場で利用可能な非常に有益なプログラムとなっている点が大きな特徴と言えます



CARE 実習風景 2

しょう。

今回、本学大学院博士後期課程の大学院生2名と修了生1名もオブザーバーとして参加し、CARE トレーナートレーニングの受講資格を獲得することができました。さらに、オブザーバー経験を済ませた後期課程院生1名が筆者のアシスタントとして講座運営をサポートしてくれた点も本学のような教育機関でワークショップを開催する大きなメリットと言えるでしょう。CAREは配布物やマニュアルも明確化されているため、若手の臨床家でも今後トレーナー資格を取得すれば、ワークショップ講師としての活動も比較的实践しやすいと思われます。CAREを身につけることで臨床心理士としての“付加価値”が高まりますので、CAREは必ずや本学の臨床心理士育成の新たな特長の一つとなることでしょう。これを機に本学修了生のCAREトレーナーがどんどん育ち、関西でのCAREの普及に大いに貢献してくれることを期待しています。そのため小さな種まきではありましたが、本学でのささやかなCAREワークショップ実践が、CAREという素晴らしいプログラムの今後の発展に少しでも寄与できたなら幸いです。CAREワークショップは、心理療法であるPCITと並行し、これからも本心理相談室における心理教育プログラムの一環として継続開催する予定です。今回の抽選にもれ、残念ながら参加いただけなかった方々も含め、子育て支援に関心を持っておられる地域の皆様のご参加をお待ちしております。

CARE Child-Adult Relationship Enhancement

～子どもと大人のきずなを深めるプログラム～

専門家ワークショップのご案内

CARE (Child-Adult Relationship Enhancement) とは、米田で開発された、子どもと関わる大人のための心理教育的介入プログラムです。2歳～児童期を中心に、思春期を含めた子どもの親および子どもと関わるすべての大人のための関係改善に有効です。CAREのスキルを体験的に学ぶことで、今後の子育て支援に活かしていただけます。詳しくはCARE-JapanのHP(<http://www.care-japan.org>)をご覧ください。

***日時** 2016年10月10日(月・祝) 13時30分～17時30分

***場所** 神戸女学院大学 EB-101教室 (阪急「門戸厄神」駅 徒歩15分)

***講師** CAREシニアトレーナー

國吉 知子 (神戸女学院大学教授・臨床心理士)

***定員** 8名 申込者多数の場合は抽選とさせていただきます

本ワークショップは、子育て支援の専門家・スタッフを対象に、CARE-Japan認定ワークショップとして開催いたします。



***申込方法** メールに①～⑥の必要事項を記載し、下記アドレスにお申し込みください

***申込先アドレス** office.carekobe@gmail.com

初めてのご参加について

- ・参加費 一般 5,000円
院生・本学修了生 4,000円
- ・申込時の記載事項
- ①氏名(漢字・ローマ字表記)
- ②性別
- ③ご所属および職種
- ④連絡先メールアドレス
- ⑤参加形態(初めてCAREのWSに参加される方は、受講者とお書きください)
- ⑥今回のWSをお知りになったきっかけ

オブザーバーとしてのご参加について

- ・参加費 2,000円
- ・申込時の記載事項
- ①～④は左記と同様
- ⑤参加形態(1回以上CAREのWSに参加された方は必ずオブザーバーとお書きください)
- ⑥前回のWSご参加の年月日とトレーナー名を分る範囲でお書きください
- ※定員は先着5名様とさせていただきます。

***申込期限** 2016年9月15日(木) 参加可否は9/23(金)迄にお知らせします

***振込先** 三井住友銀行 甲東支店 普通口座 1004210 学)神戸女学院 (か)の)カ)ガ)ク)ケ)

・振込の際は、必ず名前の前に「CARE」と入れてください。

・手数料はご本人様負担となります。

・銀行振込票は必ず保管してください。

問い合わせ先 神戸女学院大学大学院 心理相談室
〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山 4-1

☎0798-51-8554 (10時～17時) / 0798-51-8553(当日) ✉office.carekobe@gmail.com

CARE ワークショップチラシ